

I. 報告事項

- 報告 1 2022 年度事業報告の件
 - 資料 1 2022 年度事業報告書
- 報告 2 2023 年度事業計画の件
 - 資料 2 2023 年度事業計画書
- 報告 3 2023 年度収支予算書の件
 - 資料 3 2023 年度収支予算書

II. 決議事項

- 第 1 号議案 2022 年度決算の件
 - 資料 4 貸借対照表
 - 資料 5 正味財産増減計算書
 - 資料 6 財産目録（注記，附属明細書を含む）
 - 資料 7 監査報告書
- 第 2 号議案 定款一部変更の件
 - 資料 8 定款一部変更（電子提供制度）案

2023 年 5 月 26 日

一般社団法人 日本フルードパワーシステム学会

〒 105-0011 東京都港区芝公園 3 丁目 5-22
機械振興会館 別館 102

電話 03-3433-8441
FAX 03-3433-8442
E-mail info@jfps.jp

1. 2022年度事業報告の件

資料1 2022年度事業報告

自 2022年 4月 1日

至 2023年 3月31日

1-1 事業

(1) 集会事業 (企画委員会)

事業名	行事名	期日	場所
総会	第41期通常総会	2022. 5. 27	東京(機械振興会館) オンライン
講演会	2022年春季フルードパワーシステム講演会 参加者 個人：73名，団体：6団体 論文数：31件	2022. 5. 26 ～5. 27	オンライン
	2022年秋季フルードパワーシステム講演会 参加者 個人：108名，団体：3団体 論文数：45件	2022. 11. 10 ～11. 11	下関(海峡メッセ下関) 動画配信
講習会	キャリア支援セミナー 参加者 第1回：30名，第2回：23名，第3回：21名	2023. 1. 13 2. 10 3. 17	オンライン
	フルードパワーシステム特別研修会 登録参加者：7社・7名	2022. 5. 17 11. 24	オンライン
セミナー	2022年春季フルードパワーシステム講演会 併設セミナー 「進化を続ける空気圧機器」 参加者 個人：26名，団体：1団体	2022. 5. 26	オンライン
	2022年度オータムセミナー 「フルードパワーシステムにおけるMDB活用」 参加者 個人：21名，団体：9団体	2022. 12. 15	オンライン
	2022年度ウィンターセミナー 「機械学習の基礎とフルードパワーシステム への応用」 参加者 個人：24名，団体：5団体	2023. 3. 7	オンライン

(2) 研究委員会 (企画委員会・基盤強化委員会)

- 油圧機器のトライボロジーなど基盤技術に関する基盤研究委員会
(委員長 西海 孝夫，2021年4月～2023年3月)，2022年度：2回開催
- 空気圧機器システム特性基盤研究委員会
(委員長 香川 利春，新設；2022年4月～2024年3月)，2022年度：2回開催
- 機能性流体FPSのフロンティア展開に関する研究委員会
(委員長 中野 政身，新設；2022年4月～2024年3月)，2022年度：3回開催
- 深層学習を活用したフルードパワーシステムに関する研究委員会
(委員長 小林 亘，新設；2022年4月～2024年3月)，2022年度：3回開催

(3) 会誌（編集委員会）

	Vol.	No.	発行年月日
会誌「フルードパワーシステム」	53	3	2022. 5. 15
		4	7. 15
		E1	8. 15（電子出版）
		5	9. 15
	54	6	11. 15
		1	2023. 1. 15
		2	3. 15
発行数	電子出版を含め7回発行， 毎号1, 550部		

(4) 研究論文（論文集委員会）

	和文/英文誌の別	投稿論文 受付件数	論文集 掲載済	掲載待ち	校閲中	返却
2021年度	和文誌	5	4	0	0	1
	英文誌	19	16	0	0	3
2022年度	和文誌	6	0	0	3	3
	英文誌	4	0	2	2	0

(5) 表彰（表彰委員会）

① 2021年度（一社）日本フルードパワーシステム学会賞授賞者

・学術論文賞：

「Transmitted Power of Piping and Wiring in Hydraulic, Pneumatic, and Electric Drive Systems (Considerations for Loss in Pipes and Wires)」
風間 俊治（室蘭工業大学）

・技術開発賞：

「電動流量制御弁とタクトタイムコントローラを用いた空気圧シリンダ制御およびモニタリングシステム」
齊藤 悠，高橋 義広（株式会社コガネイ）

・技術功労賞：西股 健一（SMC株式会社）

・学術貢献賞：田中 豊（法政大学）

・最優秀講演賞：

<春季> 社会人部門：増田 精鋭（株式会社IHI）
学生部門：甲斐 友朗（立命館大学），宇佐美 太一（信州大学）
<秋季> 開催なし

② 2021年度SMC高田賞：

「Development of Small-sized Servo Valve using Gate Mechanism and Diaphragm」
小林 卓巳（岡山理科大学）

③ 2021年度油空圧機器技術振興財団顕彰：

「Improving the overall efficiency of an electro-hydraulic drive system by using efficiency maps」
Ha Tham Phan, 佐藤 恭一（横浜国立大学）

④ 名誉員：中野 政身（東北大学）

⑤ フェロー：名倉 忍（株式会社小松製作所）

1-2 会議及び委員会活動

会議名	回数	備考
第41期通常総会	1回	2021. 5. 27開催(オンライン)
理事会	6回	オンライン, 書面審議
委員長会議	5回	オンライン
評議員会		開催中止
各委員会		
庶務委員会		書面審議
会計委員会		書面審議
編集委員会	6回	オンライン, 書面審議
企画委員会	6回	オンライン, 書面審議
基盤強化委員会	3回	オンライン, 書面審議
論文集委員会	4回	オンライン, 書面審議
出版委員会		書面審議
表彰委員会		書面審議
情報システム委員会	4回	オンライン
国際交流委員会		書面審議
国際シンポジウム実行委員会	4回	オンライン, 現地下見

(1) 会議

・理事会

各担当理事からの提案事項, 各委員会活動計画・報告内容, 基盤強化に関する事項などを審議した。

・委員長会議

理事会開催の前月に開催し, 各委員会活動の調整および理事会に諮る議題を検討した。

・評議員会

事務局より 2022 年度の評議員会資料を送付し, 学会活動における諸問題について提案いただいた。

(2) 委員会

・庶務委員会

事務局職員の給与, 賞与の策定, 規程類の改訂審議, その他適宜施策を策定し実施した。

・会計委員会

財務の管理・運営, 決算書・予算書などの作成, 会計監査などを適宜実施した。経理業務処理規定に基づき, 每期及び半期毎の予算管理報告を実施した。

・編集委員会

会誌の特集企画立案および編集作業を実施した。また, 発行から 1 年経過した会誌記事を 10 年分遡って学会 HP へ掲載した。一方, J-STAGE 及び学術情報データベースの EBSCO-host への掲載を同様に準備中である。

・企画委員会

講演会, セミナーなどの集会事業を企画・実施するとともに, オンライン開催可能な環境整備を行い, 講演会の動画配信, オンラインによるセミナーを開催した。動画配信, オンライン開催では参加資格に「団体」枠を設け, 企業の研究者, 技術者が参加しやすい環境づくりを行った。研究委員会などの研究調査事業を基盤強化委員会と連携して企画し, 実施した。

・基盤強化委員会

学会の会員増強, 財務強化のための施策を企画立案した。「FP 道場」に代わる企画として, 賛助会員企業と学校関係者を結ぶ「キャリア支援セミナー」を企画し, 3 回開催した。工業会と連携し, 工業会 HP の「産学技術相談窓口」の開設に協力を行った。また, フェローの

- 推薦・認定を行った。
- ・論文集委員会

論文集への投稿論文等の校閲の運営・管理を実施した。J-STAGE 上に和文論文集 2 編，英文論文集 3 編を公開した。また，英文論文集の DOAJ への採録をめざし JST のジャーナルコンサルを受け，英文論文投稿規程（ITA），英文論文執筆要領（Writing Guidelines），英文論文テンプレートの改定を行うとともに，著作権委譲同意書（CTA）を制定し，HP に公開した。論文投稿システム（EM）に Similarity Check を導入するとともに，各種設定の見直しを実施した。Vol.16（2023）Issue 1 より，英文論文集はオープンアクセス誌（CC BY-NC-ND 4.0）に移行する。
- ・出版委員会

会誌や論文集など他の委員会が所掌する出版物以外の出版に関する事業の企画立案を実施した。また，「機能性流体テクノロジーの次世代 FPS への展開に関する研究委員会」及び「機能性流体フルードパワーシステムに関する研究委員会」の研究成果報告書をそれぞれ発行した。
- ・表彰委員会

学会賞各賞の募集・選考・表彰，名誉員の推挙，他団体の顕彰への推薦などを実施した。
- ・情報システム委員会

情報システム委員会情報の充実化のための一環として，HP の充実と保守管理・運営，学会事務局の IT 化，情報セキュリティ確保に関連した整備を実施した。また，企画委員会と協力し，講演会，セミナーのオンライン開催に必要な環境を整備し，必要な機器を導入した。
- ・国際交流委員会

日中韓ジョイントワークショップの開催を延期し，JFPS 国際シンポジウム広島 2024 での開催とすることを，中国，韓国に担当者へ打診し了承を得た。また，日中若手研究者交流事業では，2023 年に中国で開催される FPM2023 へ日本から研究者を派遣することで調整中。
- ・国際シンポジウム実行委員会

第 12 回 JFPS フルードパワー国際シンポジウム広島 2024 を広島国際会議場にて開催すべく，実行委員会を立ち上げ，各種アナウンス，会場下見等を適宜実施した。
- ・学会創立 50 周年記念事業実行委員会

残された行事として，学会創立 50 周年記念パーティーを計画したが，コロナ感染状況が落ち着かず，次年度の開催として延期とされた。

(3) 寄付金

- ・一般寄付金振込額

¥ 5,000,000（SMC株式会社，2022年8月19日）

(4) 会員の移動状況

会員の種別	2022年4月1日	2023年4月1日	差引増減	備考
正会員(注)	834名	809名	-25名	
学生会員	87名	92名	+5名	
賛助会員	126社 (281口)	123社 (280口)	-3社 (-1口)	

(注) 正会員の内訳：

2022年4月1日 名誉員 16名，シニア員 65名，ジュニア員 76名，その他 668名
 2023年4月1日 名誉員 16名，シニア員 68名，ジュニア員 64名，その他 661名

2. 2023年度事業計画の件

資料2 2023年度事業計画書 (案)

自 2023年 4月 1日

至 2024年 3月31日

2-1 事業計画

(1) 集会事業

事業名	行事名	期日	場所
総会	第42期通常総会	2023. 5. 26	東京(機械振興会館)
式典	学会創立50周年記念パーティー	2023. 9. 29	東京(機械振興会館)
講演会	2023年春季 フルードパワーシステム講演会	2023. 5. 25 ～5. 26	東京(機械振興会館) 動画配信
	2023年秋季 フルードパワーシステム講演会	2023. 11. 30 ～12. 1	岡山(岡山理科大学) 動画配信
講習会	キャリア支援セミナー	未定	オンライン
	フルードパワーシステム特別研修会	4～5回開催	オンライン 東京近郊・他
セミナー	2023年春季フルードパワーシステム講演会 併設セミナー	2023. 5. 25	東京(機械振興会館) 動画配信
	2023年度オータムセミナー	2023. 12	オンライン
	2023年度ウィンターセミナー	2024. 2	オンライン

(2) 研究委員会 (基盤強化委員会, 企画委員会)

- 1) 油圧機器のトライボロジーなど基盤技術に関する基盤研究委員会
(委員長 西海 孝夫; 2023年4月～2025年3月) 3～4回/年開催
- 2) 空気圧機器システム特性基盤研究委員会
(委員長 香川 利春; 2022年4月～2024年3月) 3～4回/年開催
- 3) 機能性流体FPSのフロンティア展開に関する研究委員会
(委員長 中野 政身; 2022年4月～2024年3月) 3～4回/年開催
- 4) 深層学習を活用したフルードパワーシステムに関する研究委員会
(委員長 小林 亘; 2022年4月～2024年3月) 3～4回/年開催

(3) 学会誌・論文集

学会誌「フルードパワーシステム」を、電子出版号を含めて年7号刊行する。

「日本フルードパワーシステム学会論文集」, 「JFPS International Journal of Fluid Power System」を、適宜J-STAGEに掲載する。Vol.16(2023) Issue 1以降の英文論文掲載数が10編となったところで、JSTを通してDOAJに採録申請を行う。

(4) 出版物

講演会の論文集, セミナーのテキストを電子出版する。また, 研究委員会の研究成果報告書
を出版する。

- (5) 表彰
学会賞（学術論文賞，学術貢献賞，技術開発賞，技術功労賞，最優秀講演賞），SMC 高田賞，名誉員の推挙，他団体の顕彰への推薦などの募集，選考，表彰を実施する。
- (6) 他学協会との共催，協賛
「フルードパワーシステム講演会」，オータムセミナー，ウィンターセミナー，その他企画事業について関連団体へ共催・協賛を積極的に要請する。同じく，関連団体よりの共催・協賛要請に適宜対応する。
- (7) 学会 IT 環境整備事業
会員へのサービス向上のため IT 環境の整備，特に HP を逐次更新し，最新情報を担保するとともに，会員管理システムのセキュリティ更新，学会事務局のセキュリティ確保を継続して実施する。
- (8) 国際交流事業
中国との交流のため，若手研究者を中国で開催される FPM2023 に派遣する。
2024 年に日本で開催予定の日中韓共同ワークショップの開催準備を進める。
第 12 回 JFPS フルードパワー国際シンポジウム広島 2024 の開催準備を進める。
- (9) 産・学共同研究事業
日本フルードパワー工業会と共同し，関連情報の収集，テーマの設定，研究開発の概要などを検討する。
- (10) 学会創立 50 周年記念事業
学会創立 50 周年記念事業実行委員会にて，創立 50 周年記念パーティーを計画・開催する。

2-2 会議及び各委員会の活動計画

- (1) 通常総会 第 42 期通常総会 (5 月 26 日開催予定)
- (2) 理事会 年 6 回開催 (委員長会議 (年 5 回開催) で理事会の議題調整・準備)
- (3) 各委員会
 - ・庶務委員会：
組織，定款・細則・諸規程整備，渉外・人事などに関する策定と実施 (適宜開催)
 - ・会計委員会：
財務の管理・運営，決算書・予算書等の作成，年度末の会計監査の実施，毎月の予算管理及び半期ごとの予算執行状況報告。(適宜開催)
 - ・編集委員会：
会誌の特集企画立案及び編集，新トピックス記事の検討。(年 6 回，その他分科会適宜開催)
 - ・企画委員会：
講演会，セミナーなどの集会事業の企画策定と実施，研究委員会や特別研究委員会などの研究調査事業の基盤強化委員会との連携による企画，運営。(年 6 回，その他分科会適宜開催)
 - ・基盤強化委員会：
学会会員増強，財務基盤強化のための施策の企画立案と実施。FPS 特別研集会などの若手技術者の研修事業の企画と実施。賛助会員企業と学校関係者を結ぶ「キャリア支援セミナー」の企画と実施。フェローの推薦と認定。(年 4 回開催)
 - ・論文集委員会：
論文集への投稿論文などの校閲の運営・管理，J-STAGE での公開。DOAJ への採録 (適宜開催)

- 出版委員会：
会誌や論文集など他の委員会が所掌する出版物以外の出版に関する事業の企画立案及び編集。（適宜開催）
- 表彰委員会：
学会賞等の各賞の募集・選考・表彰，名誉員の推挙，他団体の顕彰への推薦。（適宜開催）
- 情報システム委員会：
情報の充実化策定と実施，学会誌・講演論文集等の電子化および公開，学会 IT 関連整備，HP の充実化と管理・運営。（年 4 回開催）
- 国際交流委員会：
中国との交流のため，FPM2023 に若手研究者を派遣する。
2024 年に開催される国際シンポジウム広島 2024 に合わせて，日中韓共同ワークショップの開催準備を進める。（適宜開催）
- 国際シンポジウム実行委員会：
第 12 回 JFPS フルードパワー国際シンポジウム広島 2024 の開催準備を進める。（適宜開催）
- 学会創立 50 周年記念事業実行委員会：
記念式典・企画分科会にて，9 月に創立 50 周年記念パーティーを開催する。（適宜開催）

資料3 2023年度収支予算書

2023年 4月 1日～2024年 3月31日まで

(単位：円)

科 目	2023 年度
I 一般正味財産増減の部	
1. 経常増減の部	
(1) 経常収益	
特定資産運用益	0
特定資産受取利息	0
受取会費	22,950,000
正会員会費収入	5,916,000
賛助会員会費収入	16,800,000
学生会員会費収入	234,000
受取参加料	4,350,000
春季・秋季講演会収入	2,850,000
オータム・ウィンターセミナー収入	800,000
OHC-Sim 事業収入	0
研究委員会収入	0
特別研修会収入	700,000
国際シンポジウム収入	0
国際交流事業収入	0
受取販売料	550,000
学会誌頒布収入	300,000
諸資料頒布及び著作権料収入	250,000
受取掲載料	400,000
論文掲載料収入	400,000
受取広告料	1,300,000
広告料収入	1,300,000
受取出展料	0
IFPEX 展示収入	0
受取補助金等	50,000
国際シンポジウム	0
秋季講演会	50,000
受取寄付金	5,000,000
国際シンポジウム	0
その他	5,000,000
雑収益	10,000
普通預金利息	0
雑収益	10,000
経常収益計	34,610,000
(2) 経常費用	
会誌事業費	5,310,000
会議費	20,000
諸謝金費	400,000
印刷製本費	2,800,000
通信運搬費	750,000
編集業務委託費	1,300,000
支払手数料	40,000
企画事業費	1,820,000
会議費	20,000
春季・秋季講演会開催費	1,500,000
セミナー（オータム・ウィンター）開催費	300,000
キャリア支援セミナー開催費	0

科 目	2023 年度
研究委員会事業費	400,000
機能性流体研究委員会費	100,000
トライボロジー研究委員会費	100,000
深層学習研究委員会費	100,000
空気圧機器システム特性研究委員会	100,000
OHC-Sim 事業費	0
OHC-sim 特別教育講座開催費	0
OHC-sim 特別研究委員会費	0
特別研修会事業費	300,000
FPS 特別研修会開催費	300,000
表彰事業費	340,000
表彰費	340,000
情報関連事業費	1,240,000
保守費	200,000
回線使用料・ドメイン管理費	70,000
IT 環境整備費	800,000
サーバー保守費	150,000
会議費, 運営費	20,000
国際交流事業費	100,000
国際交流事業費	100,000
論文集事業費	800,000
会議費	0
論文集公開経費 (J-STAGE)	800,000
出版事業費	200,000
研究委員会報告書発行費	200,000
IFPEX 開催費	0
IFPEX 開催費	0
創立 50 周年事業費	1,300,000
会議費	0
記念式典・企画事業	1,000,000
記念出版・編集事業	0
広報事業	0
学会事務局設備更新	300,000
国際シンポジウム開催費	250,000
国際シンポジウム開催費	0
準備費	250,000
管理費	22,550,000
給料手当	11,000,000
福利厚生費	2,500,000
会議費	800,000
旅費交通費	200,000
通信運搬費	300,000
什器備品費	350,000
消耗品費	200,000
賃貸料	3,600,000
諸謝金	800,000
支払手数料	80,000
他団体参加費	120,000
基盤強化委員会費	100,000
退職給付費用	1,000,000
減価償却費	1,200,000
雑費	300,000
経常費用計	34,610,000
当期経常増減額	0

II. 決議事項

第1号議案 2022年度決算の件

資料4 貸借対照表

2023年 3月31日現在

(単位：円)

科 目	当年度(2022)	前年度(2021)	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	50,053,402	45,063,868	4,989,534
流動資産合計	50,053,402	45,063,868	4,989,534
2. 固定資産			
(1) 特定資産			
退職給付引当預金	3,469,218	2,804,944	664,274
情報システム運営基金	5,000,000	5,000,000	0
国際交流事業運営基金預金	7,586,511	7,586,511	0
国際シンポジウム運営基金預金	11,253,505	11,253,505	0
産学共同研究基金預金	6,866,252	6,866,252	0
出版事業基金預金	2,574,574	2,574,574	0
フルードパワーシステム技術基金	5,000,000	5,000,000	0
特定資産合計	41,750,060	41,085,786	664,274
(2) その他固定資産			
ソフトウェア	0	0	0
リース資産	606,312	1,645,704	△ 1,039,392
電話加入権	38,441	38,441	0
敷金	3,163,800	3,163,800	0
その他固定資産合計	3,808,553	4,847,945	△ 1,039,392
固定資産合計	45,558,613	45,933,731	△ 375,118
資産合計	95,612,015	90,997,599	4,614,416
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	45,100	45,100	0
前受金	5,049,000	5,035,000	14,000
前受会費	15,434,000	15,718,000	△ 284,000
預り金	68,602	65,810	2,792
未払法人税等	121,600	117,300	4,300
流動負債合計	20,718,302	20,981,210	△ 262,908
2. 固定負債			
リース債務	606,312	1,645,704	△ 1,039,392
退職給付引当金	3,469,218	2,804,944	664,274
固定負債合計	4,075,530	4,450,648	△ 375,118
負債合計	24,793,832	25,431,858	△ 638,026
III 正味財産の部			
1. 一般正味財産	70,818,183	65,565,741	5,252,442
(うち特定資産への充当額)	(38,280,842)	(38,280,842)	(0)
正味財産合計	70,818,183	65,565,741	5,252,442
負債及び正味財産合計	95,612,015	90,997,599	4,614,416

資料5 正味財産増減計算書

2022年 4月 1日～2023年 3月31日まで

(単位：円)

科 目	当年度(2022)	前年度(2021)	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
特定資産運用益	1,969	1,803	166
特定資産受取利息	1,969	1,803	166
受取会費	22,952,495	23,440,745	△ 488,250
正会員会費収入	5,800,495	6,370,745	△ 570,250
賛助会員会費収入	16,980,000	16,860,000	120,000
学生会員会費収入	172,000	210,000	△ 38,000
受取参加料	3,412,000	6,212,000	△ 2,800,000
春季講演会収入	1,260,000	904,000	356,000
秋季講演会収入	1,248,000	0	1,248,000
オータムセミナー収入	508,000	468,000	40,000
ウィンターセミナー収入	396,000	45,000	351,000
FPS 特別研修会収入	0	350,000	△ 350,000
国際シンポジウム収入	0	4,445,000	△ 4,445,000
受取販売料	599,054	761,845	△ 162,791
学会誌頒布収入	272,222	390,936	△ 118,714
諸資料頒布及び著作権料収入	326,832	370,909	△ 44,077
受取掲載料	249,500	573,500	△ 324,000
論文掲載料収入	249,500	573,500	△ 324,000
受取広告料	1,436,600	1,359,600	77,000
広告料収入	1,436,600	1,359,600	77,000
受取出展料	0	135,000	△ 135,000
IFPEX 展示収入	0	135,000	△ 135,000
受取補助金等	100,000	500,000	△ 400,000
国際シンポジウム	0	500,000	△ 500,000
秋季講演会	100,000	0	100,000
その他	0	0	0
受取寄付金	5,000,000	5,200,000	△ 200,000
国際シンポジウム	0	200,000	△ 200,000
50周年記念事業	0	0	0
その他	5,000,000	5,000,000	0
雑収益	79,972	2,143	77,829
普通預金利息	55	143	△ 88
雑収益	79,917	2,000	77,917
経常収益計	33,831,590	38,186,636	△ 4,355,046
(2) 経常費用			
会誌事業費	4,688,319	4,984,759	△ 296,440
会議費	0	0	0
諸謝金費	390,000	339,750	50,250
印刷製本費	2,616,754	3,183,352	△ 566,598
通信運搬費	852,894	740,805	112,089
編集業務委託費	787,971	688,732	99,239
支払手数料	40,700	32,120	8,580
企画事業費	660,334	288,742	371,592
会議費	0	0	0
春季講演会開催費	147,671	198,020	△ 50,349
秋季講演会開催費	433,107	13,398	419,709
オータムセミナー開催費	79,556	70,779	8,777
ウィンターセミナー開催費	0	6,545	△ 6,545
FP 道場開催費	0	0	0
研究委員会事業費	130,720	23,182	107,538
トライボロジー基盤研究委員会	0	0	0
空気圧機器システム基盤研究委員会	0	0	0
機能性流体研究委員会	100,660	0	100,660
深層学習研究委員会	30,060	23,182	6,878

科 目	当年度(2022)	前年度(2021)	増 減
特別研修会事業費	11,632	24,417	△ 12,785
FPS 特別研修会事業費	11,632	24,417	△ 12,785
表彰事業費	229,343	231,105	△ 1,762
表彰費	229,343	231,105	△ 1,762
情報関連事業費	1,394,980	2,264,782	△ 869,802
保守費	317,514	213,486	104,028
回線使用料・ドメイン管理費	109,972	109,994	△ 22
IT 環境整備費	967,494	1,832,072	△ 864,578
サーバー保守費	0	109,230	△ 109,230
会議費、運営費	0	0	0
国際交流事業費	5,500	0	5,500
国際交流事業費	5,500	0	5,500
論文集事業費	213,345	684,541	△ 471,196
論文集公開経費 (J-STAGE)	213,345	684,541	△ 471,196
IFPEX 開催費	0	47,960	△ 47,960
IFPEX 開催費	0	47,960	△ 47,960
国際シンポジウム開催費	357,208	4,167,462	△ 3,810,254
国際シンポジウム開催費	94,160	4,167,462	△ 4,073,302
準備費	263,048	0	263,048
出版事業費	207,065	0	207,065
研究委員会報告書発行費	207,065	0	207,065
50周年記念事業費	40,580	2,464,671	△ 2,424,091
会議費	6,600	0	6,600
通信運搬費	980	183,380	△ 182,400
記念式典・企画	33,000	191,951	△ 158,951
記念出版・編集	0	2,089,340	△ 2,089,340
管理費	20,518,234	19,971,839	546,395
給料手当	10,516,545	10,101,501	415,044
福利厚生費	2,230,984	2,294,390	△ 63,406
会議費	504,045	454,190	49,855
旅費交通費	213,384	53,720	159,664
通信運搬費	218,094	180,277	37,817
什器備品費	83,520	311,040	△ 227,520
消耗品費	189,712	136,497	53,215
賃貸料	3,597,204	3,597,204	0
諸謝金	816,150	741,400	74,750
支払手数料	152,636	89,190	63,446
他団体参加費	98,133	99,560	△ 1,427
基盤強化委員会費	15,849	35,299	△ 19,450
退職給付費用	664,274	629,612	34,662
減価償却費	1,039,392	1,039,392	0
雑費	178,312	208,567	△ 30,255
経常費用計	28,457,260	35,153,460	△ 6,696,200
評価損益等調整前当期経常増減額	5,374,330	3,033,176	2,341,154
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	5,374,330	3,033,176	2,341,154
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
税引前一般正味財産増減額	5,374,330	3,033,176	2,341,154
法人税、住民税及び事業税	121,888	117,577	4,311
当期一般正味財産増減額	5,252,442	2,915,599	2,336,843
一般正味財産期首残高	65,565,741	62,650,142	2,915,599
一般正味財産期末残高	70,818,183	65,565,741	5,252,442
II 正味財産期末残高	70,818,183	65,565,741	5,252,442

資料6 財産目録

2023年 3月31日現在

(単位：円)

貸借対照表科目	場所・物量等	使用目的等	金額
(流動資産)			
現金 預金	手元保管	運転資金として	26,476
	普通預金		49,496,144
	新生銀行本店	運転資金として	246,918
	横浜銀行新橋支店	運転資金として	14,365
	芝信用金庫新橋支店	運転資金として	23,615
	三菱UFJ銀行本店	運転資金として	60,399
	りそな銀行新橋支店	運転資金として	8,812,554
	りそな銀行赤坂支店	運転資金として	373,221
	みずほ銀行新橋支店	運転資金として	11,350,946
	三井住友銀行日比谷支店	運転資金として	25,866,486
	ゆうちょ銀行	運転資金として	2,195,270
	郵便振替	運転資金として	552,370
預金	定期預金		530,782
	ゆうちょ銀行	運転資金として	530,782
流動資産合計			50,053,402
(固定資産)			
特定資産			
退職給付引当預金	定期預金	退職給付の準備金	3,469,218
	三井住友銀行日比谷支店		2,000,000
	ゆうちょ銀行		1,469,218
情報システム運営 基金	定期預金	情報システム運営のための 基金	5,000,000
	新生銀行本店		5,000,000
国際交流事業運営 基金預金	定期預金	国際交流事業運営のための 基金	7,586,511
	三菱UFJ銀行本店		4,554,865
	横浜銀行新橋支店		3,031,646
国際シンポジウム 運営基金預金	定期預金	シンポジウム事業運営のため の基金	11,253,505
	りそな銀行赤坂支店		2,654,405
	芝信用金庫新橋支店		8,599,100
産学共同研究基金 預金	定期預金	調査研究事業運営のため の基金	6,866,252
	りそな銀行赤坂支店		5,029,683
	横浜銀行新橋支店		1,836,569
出版事業基金預金	定期預金	会誌事業運営のための基金	2,574,574
	三井住友銀行日比谷支店		1,553,973
	みずほ銀行新橋支店		1,020,601
フルードパワー システム技術基金	定期預金	フルードパワーシステム技 術のための基金	5,000,000
	新生銀行本店		5,000,000
その他 固定資産	リース資産		606,312
	東京都港区芝公園3丁目 5番22号	事務所使用のパソコン	56,700
	同上	事務所使用の複合機	445,284
	同上	事務所使用のサーバー	104,328
	電話加入権	事務所使用の電話	38,441
	敷金	事務所の敷金	3,163,800
固定資産合計			45,558,613
資産合計			95,612,015

貸借対照表科目	場所・物量等	使用目的等	金額
(流動負債)			
未払金			45,100
	堀井公認会計士事務所	2023年3月分税理士顧問料	45,100
前受金			5,049,000
	正会員	2023年度春季講演会参加費	14,000
	(株)SMC	2023年度分寄附金	5,000,000
	ウィンターセミナー参加費	ウィンターセミナー参加費	35,000
前受会費			15,434,000
	賛助会員	賛助会員の受取会費前受分	14,940,000
	2023年度正会員	2023年度の正会員会費	486,000
	2024年度正会員	2024年度の正会員会費	8,000
預り金			68,602
	給与	2023年1月～3月分の源泉 所得税	28,230
	士業報酬	2023年1月～3月分の源泉 所得税	15,672
	住民税	2023年3月分の住民税	24,700
未払法人税等		2022年度の法人税、住民税 及び事業税	121,600
流動負債合計			20,718,302
(固定負債)			
リース債務			606,312
	東京都港区芝公園3丁目 5番22号	事務所使用のパソコン	56,700
	同上	事務所使用の複合機	445,284
	同上	事務所使用のサーバー	104,328
退職給付引当金		職員に対する退職金の支払 いに備えたもの	3,469,218
固定負債合計			4,075,530
負債合計			24,793,832
正味財産			70,818,183

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

(1) 引当金の計上基準

職員の退職金支給に備えるため、退職金規程に基づく期末要支給額を計上している。

(2) 固定資産の減価償却の方法

①リース資産

所有権移転外ファイナンス・リースに係るリース資産
リース期間定額法によっている。

(3) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込み方式によっている。

2. 特定資産の増減額及びその残高

特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
特定資産				
退職給付引当預金	2,804,944	664,274	0	3,469,218
情報システム運営基金	5,000,000	0	0	5,000,000
国際交流事業運営基金預金	7,586,511	0	0	7,586,511
国際シンポジウム運営基金預金	11,253,505	0	0	11,253,505
産学共同研究基金預金	6,866,252	0	0	6,866,252
出版事業基金預金	2,574,574	0	0	2,574,574
フルードパワーシステム技術基金	5,000,000	0	0	5,000,000
小 計	41,085,786	664,274	0	41,750,060
合 計	41,085,786	664,274	0	41,750,060

3. 特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産からの 充当額)	(うち一般正味財産からの 充当額)	(うち負債に 対応する額)
特定資産				
退職給付引当預金	3,469,218	(0)	(0)	(3,469,218)
情報システム運営基金	5,000,000	(0)	(5,000,000)	(0)
国際交流事業運営基金預金	7,586,511	(0)	(7,586,511)	(0)
国際シンポジウム運営基金預金	11,253,505	(0)	(11,253,505)	(0)
産学共同研究基金預金	6,866,252	(0)	(6,866,252)	(0)
出版事業基金預金	2,574,574	(0)	(2,574,574)	(0)
フルードパワーシステム技術基金	5,000,000	(0)	(5,000,000)	(0)
小 計	41,750,060	(0)	(38,280,842)	(3,469,218)
合 計	41,750,060	(0)	(38,280,842)	(3,469,218)

4. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
リース資産	6,026,400	5,420,088	606,312
ソフトウェア	3,750,300	3,750,300	0
合 計	9,776,700	9,170,388	606,312

5. 補助金等の内訳並びに交付者，当期の増減額及び残高
 補助金等の内訳並びに交付者，当期の増減額及び残高は，次のとおりである。

(単位：円)

補助金等の名称	交付者	前期末 残高	当期増加額	当期減少額	当期末 残高	貸借対 照表上 の記載 区分
秋季講演会助成金	(一社)下関観光 コンベンション 協会	0	100,000	100,000	0	—
合 計		0	100,000	100,000	0	

附属明細書

1. 基本財産及び特定資産の明細

特定資産の明細は，財務諸表に対する注記に記載しているため附属明細書での記載を省略している。

2. 引当金の明細

(単位：円)

科 目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
退職給付引当金	2,804,944	664,274	0	0	3,469,218

資料7 監査報告

監査報告

2023年4月26日

一般社団法人 日本フルードパワーシステム学会
会長 早川 恭弘 殿

一般社団法人 日本フルードパワーシステム学会

監事 川嶋 健嗣

監事 松村 和宣

監事 吉成 孝正



私たち監事は、2022年4月1日から2023年3月31日までの第41期事業年度の理事の職務執行状況を監査いたしました。その方法及び結果につき以下のとおり報告いたします。

1. 監査の方法及びその内容

各監事は、理事及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要会議に出席し、理事及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、また、メールによる書面審議にて業務及び財産の状況を調査いたしました。以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告及びその附属明細書について検討いたしました。

さらに、必要に応じて会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る財務諸表等（貸借対照表、内訳表を含む正味財産増減計算書、財産目録、財務諸表に対する注記）及びその附属明細書について検討しました。

2. 監査の結果

(1) 事業報告等の監査結果

- 一 事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく、示しているものと認めます。
- 二 理事の職務の執行に関する不正行為又は法令もしくは定款に違反する重大な事実は認められません。

(2) 財務諸表等及びその附属明細書の監査結果

財務諸表等及びその附属明細書は、法人の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認めます。

